

指定管理者選定委員会による評価

1. 瑞穂町立石畑保育園

元年度評価

【主な効果】

地域支援事業や地域交流を積極的に行っている。また、職員が研修により取得した資格や経験をいかし、積極的に保育の質の向上に努めている。

【主な指摘】

アンケートでは保護者の満足度は100%であり、望ましい状況である。特に休日保育の実施「天皇即位の日に伴う連休」の対応は評価に値する。常に研修を実施することで、職員の資質が向上し、保育の質の向上につながることから、今後も適正な園の運営を期待する。

2. 瑞穂町立むさしの保育園

元年度評価

【主な効果】

子どもたちが清潔で安全な環境の中で生活できるよう室内及び室外の清掃、整理整頓に努めている。また、自主事業の実施、職員研修等を通じての保育の質の改善など積極的に取り組んでいる。

【主な指摘】

行事ごとに保護者からアンケートを取り、利用者ニーズを把握し保育にいかそうとしている。しかし、アンケートの回収率が低いため、引き続き回収率の改善と行事内容の見直し等で、更なる利用者満足度の向上に期待する。

3. 瑞穂町高齢者福祉センター寿楽

元年度評価

【主な効果】

福祉バスの乗り入れ時間を考慮し、利用者の利便性を確保している。

また、午前午後を通した1日の利用者には、軽食サービスが好評であり、自主財源確保にも努めている。

【主な指摘】

施設の老朽化に伴う不具合が増えているが、緊急修繕を実施しながら施設の延命化に努めている。今後も利用者や団体の意見や要望をもとに創意工夫し、利用者数が増加するような事業展開に期待する。

4. 瑞穂町シルバーワークプラザ

元年度評価

【主な効果】

毎月初めに、住民向けのシルバーパス発行業務や、会員による網戸・障子張り替え作業等の拠点として、施設活用を行うことで利用者の利便性も図られた。

また、3月に実施予定だった「町内主要道路歩道の清掃活動」が、新型コロナウイルス感染防止のため中止となったが、今後も継続して実施することを期待する。

【主な指摘】

定年後の雇用延長制度導入に伴い、入会者が減少傾向にある中、普及啓発活動を行い、会員数は前年度比で一人増となった。また、都内でトップクラスの就業率を維持するための取組と、会員数の増加に向けた取組に期待する。

5. 箱根ヶ崎駅自転車等駐車場及び箱根ヶ崎駅東西自由通路

元年度評価

【主な効果】

自由通路では、コンシェルジュの配置、各種広報紙の掲示を通じて、さやま花多来里の郷の開花イベント等の町行事を積極的にPRし、町の玄関口としての役割を果たした。

【主な指摘】

利用者アンケートの結果から、満足度は概ね良好である。しかし、駐輪場利用料は年々減少し、レンタサイクル利用料も前年と比較して減少しているため、利用料収入増に向けての取組や、町の玄関口という特性をいかした運営に期待する。

6. 瑞穂町ふれあいセンター

元年度評価

【主な効果】

地域文化事業として「ふれあいセンター 婚活イベント」と「映画上映会」の実施や、住民への相談窓口の提供として「身近な法律相談」などを開催している。

また、利用者の意見を基に、センター内に設置している自動販売機をキャッシュレス対応とした。

【主な指摘】

地域の交流の場として施設を有効に活用し、利用者の利便性の向上のため、引き続き要望等を取り入れ、適正な施設運営及び施設管理を希望する。

7. 瑞穂町福祉作業所「さくら」

元年度評価

【主な効果】

町民農園のトイレ清掃を町から受託し、斎場とその周辺美化清掃なども行うなど地域に根差した事業も展開している。保護者会や個別面談で利用者の状態把握を行い、利用者一人ひとりの意向に丁寧に向き合った支援を行っている。

【主な指摘】

コスト削減に対する取組や利用者の満足度の向上に対する取組は評価できる。今後も、利用者が自立と社会参加へ進めるよう個人の意向を考慮して、継続的な支援に取り組まれるよう希望する。

8. 瑞穂町心身障害者(児)福祉センター「あゆみ」

元年度評価

【主な効果】

地域活動支援センター事業における利用者の重度化への対応や、タイムケア事業で始めた個別支援計画を見直し、地域活動支援センター事業で利用を開始した。また、特別支援学校との連携を強化するなど、特色ある支援を行っている。

【主な指摘】

タイムケア事業で始めた個別支援計画を見直し、個別目標を定めるなど、事業内容と効果の検証をしていることを評価する。引き続き、保護者との個人面談の結果を利用者支援に反映させるなど、職員の親切かつ丁寧な対応に期待する。

9. 瑞穂町精神障害者地域活動支援センター「ひまわり」

元年度評価

【主な効果】

一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。従来のカリキュラムに「体調管理や服薬」など、身近な生活課題に取り組んだり、精神的に不安定となった利用者の相談に応じたりしている。

【主な指摘】

精神障がい者の居場所として、利用者の立場に立った施設運営など、その果たす役割は大きい。引き続き、より良い施設運営及び施設管理に期待する。

10. 瑞穂町精神障害者共同作業所「ころぼっくる」

元年度評価

【主な効果】

作業所内だけではなく、実習先やハローワークへの職員の同行や、関係機関との連携に取り組んでいる。多種の作業を用意することで多くの作業スキルが習得でき、就労への意欲とイメージを高めている。

【主な指摘】

精神障がい者の自立支援に取り組む姿勢は高く評価できる。今後も、積極的な利用者の自立支援の取組に期待する。

11. 耕心館

元年度評価

【主な効果】

コンサートや企画展、講座やけやき館との連携事業（山野草まつり）など魅力ある事業を実施している。また、積極的に周辺施設や地域の方と連携した企画を実施し、集客及び地域の活性化に取り組んでいる。

【主な指摘】

ホームページでの広報活動は、利用者サービス向上策として評価できる。今後、主催事業の申込みがスマートフォンやパソコンで可能になれば、利便性の向上が図れると考える。

12. 瑞穂町郷土資料館「けやき館」

元年度評価

【主な効果】

企画展や講演会、親子で楽しめる工作教室や耕心館との連携事業を実施し、1月中旬には開館からの来館者数が20万人を超えた。また、きらめき回廊計画の拠点施設として情報を発信するなど、積極的に地域の活性化に努めている。

【主な指摘】

年間の来館者数、特に町外からの来館者が順調に伸びており、回廊計画の拠点施設として情報の発信、周辺施設や各課と連携しながら、積極的に地域の活性化に努めている。今後も利用者数の増加への取組に期待する。

13. 瑞穂町産業会館

元年度評価

【主な効果】

施設管理については節電に努め、商工会職員が清掃し常に清潔に保つなど適切に管理されている。また、会議室のインターネット環境を整備するなど、利用者の利便性を考えている。

【主な指摘】

施設の適切な維持管理とともに、町の産業の拠点施設として更なる充実に努めてもらいたい。町内産業が発展するための積極的かつ多角的な事業展開を期待する。
